

温暖化対策を争点に

東北大学大学院教授 明日香

しゅせん
壽川さん

いわぶち 脱炭素を口実にした原発推進も大きな問題です。日本共産党の「2030戦略」でも最悪の環境破壊と批判しています。

私は先月、福島県浪江町の帰還困難区域に調査に行きました。福島第1原発の事故から10年たっても家に帰ることができない人を何万人も出し、一人ひとりの人生をまるごと変えているんです。

再エネ費用安く

明日香 昨年12月、FFP（フライデーズ・フォー・フューチャー）の若い人たちとネットでそのことに

日本共産党参院議員 いわぶち 友さん

新春対談

〈下〉原発・汚染水問題



ついで話しました。いまEU（欧州連合）で、温暖化対策としての原発を入れるかどうかの議論がされています。

核兵器保有国で原子力産業を維持したいフランスやフィンランド、東欧8国は原発推進です。一方、ドイツやオーストリアは反対しています。



世界全体としては、温暖化対策として原発は使えないという考えの方が主流です。理由はコスト、事故リスク、廃棄物処理、計画から運転までの時間です。アメリカ政府は発電のコストを毎年公表しており、2013年くらいから原発より再生可能エネルギーのほうが安くなっています。太陽光の発電コストは、多くの国で、ここ10年間で約1割に下がりました。最近、日本政府も30年に原発は太陽光発電より高くなると試算を出しました。

いわぶち 私も今年6月の経産委員会の質問で、先生たちが示したその資料を使わせていただきました。

明日香 日本は、フィンランドと違って地震国です。私は、福島での原発事故に関わった東電の人が、3・11が土日の夜だったらと考えると（職員がいなくて対応できなかったはずなので）ソツとする、と言うのを聞いて、こういう技術は駄目だと思いました。

野党が力合わせ

いわぶち 福島第1原発の汚染水の海洋放出の問題でも、福島で大きな反対の声が広がっています。漁業関係者には、復興のために努力してこまできたのにという、強い怒りがあります。実害を風評被害と呼んだり、汚染水を処理水と呼んだり、政府が不誠実な対応を続けるからです。

明日香 それも一種の「グリーン・ウォッシュ」ですね。原発も石炭火力も、今のシステムで短期的利益を得る人たちが政治の中枢にいる限り続きます。

明日香 野党が気候危機打開と一緒に大きな力、大きな声を発揮できればと思っています。

いわぶち 先生の決意に力をいただき、私たちも頑張ります。（おわり）
（上は7日付、中は8日付掲載）

原発最悪の環境破壊

北海道・東北のページ